

所得不平等が健康に及ぼす影響 一日米比較

神戸大学大学院経済学研究科

博士課程後期課程

小林 美樹

要旨

本稿では、所得不平等と健康の関連について集計データから日米両国の現状を概観した。さらに個票データを用いて、所得階層と主観的健康状態についても日米両国について分析、比較を行った。その結果、日本はジニ係数と年齢調整死亡率との間には明確な関連はなかったが、米国では顕著な関連が確認できた。また、個票データからは、日米両国とも、低所得層では主観的健康状態が悪いことが明らかになった。さらに、15、6歳時の世帯所得が、特に男性では現在の主観的健康状態にも影響を及ぼしていることが明らかになった。